

保護者・地域等学校関係者の皆様への教育長メッセージ ④

『領事館交流・がん教育・なかよし交流会』

今年も名古屋にある8つの領事館と国際交流活動を行っています。それぞれの学校が2年目を迎えています。神島田小とペルー領事館（9月26日）、北小とカナダ領事館（11月12日）、蛭間小と中国領事館（11月29日）、西小とフィリピン領事館（12月12日）、高台寺小とアメリカ領事館（12月17日）、南小と韓国領事館（12月17日）が終わりました。各学校が工夫をして、学校や津島の紹介、日本文化（書道・剣道・茶道など）の体験活動も取り入れ、楽しい交流会を計画してくれています。また領事館もそれぞれの国の文化や観光地、食べ物の紹介だけでなく、ハングル（語学）や遊びの体験、二胡の演奏会など楽しい学習を計画してくれています。こういった活動の中から、将来国際社会で活躍する人材が育つことを願っています。給食を食べながらお話を聞くこともでき、それぞれのお国の違いを知ることができました。

命の尊さを知る「がん教育」の授業を今年も実施しました。小学校は学校医の先生から、中学校は市民病院の名誉医院長さんからお話を聞きました。12校すべての学校で終了しました。平成30年度からスタートしたこの授業は、コロナの感染拡大で令和2・3年度は中止となりましたが、復活して4年目となりました。医師の方から正しい「生活習慣」（バランスを考えた食事・適度な運動）に心掛ける事や禁煙につとめる事などについてお話をうかがいます。がんを発病することは辛い事ですが、決して治らない病気ではなく、上手く付き合っていく方法について教えていただきました。これらの津島市でのがん教育の授業実践をレポートにまとめていただき、小・中学校に分けて教育関係の雑誌に掲載していただくことになりました。

特別支援学級の小・中学校の「なかよし交流会」が中学校区ごとに行われました。私が参加できた2カ所の交流会では、中学校の行事について楽しく解説をしてくれました。小学生の作ったクイズやゲームを楽しみました。また「クラウン（道化師）」の方に来ていただき、皆で楽しいパフォーマンスの時間を過ごした校区もありました。いずれにしても年上の子どもたちが年下の子どもたちを喜ばし、楽しい交流会としてくれました。このようなつながりの会を大切にしたいと思います。今年も「津島の達人ジュニア歴史検定・選手権」の時期となりました。今年は4回目の歴史読本改訂の年にあたります。各学校に新しいテキスト35冊を届けました。新しいテキストで学習し、津島の達人ジュニア歴史検定・選手権を楽しんでほしいと思います。

錦木やゼミの合い間の草野球

令和8年1月5日

津島市教育委員会
教育長 浅井厚視